

塩水導入実験計画（案）について

説明資料

平成17年11月16日
岡山河川事務所

目 次

1 . 塩水導入実験に至る経緯と今後の予定	1
1 - 1 . 協議会等における検討経緯	1
1 - 2 . 現状と今後の予定	2
2 . 塩水の導入実験計画（案）	3
2 - 1 . 基本方針	3
2 - 2 . 塩水導入実験における水門操作方法	5
2 - 3 . 塩水導入のメリット・デメリット	8
2 - 4 . 塩水導入範囲と観測機器の配置計画（案）	9
2 - 5 . 塩水導入における課題と対応策（案）	13
2 - 6 . 実験の年度目標・方法等	14
2 - 7 . 水質等の観測項目・目的・観測方法等	15
2 - 8 . 実験スケジュール（案）	16
3 . 河口水門周辺の現況	17
3 - 1 . H16年度 実績沖田水位・沖元潮位について	17
3 - 2 . 河口水門増設のための仮設工事の状況について	18

1 . 塩水導入実験に至る経緯と今後の予定

1 - 1 . 協議会等における検討経緯

協議会開催の経過

第1回協議会（平成13年5月11日）

第2回協議会（平成13年7月23日）

第3回協議会（平成15年10月31日）

第4回協議会（平成16年2月12日）

・周辺有効活用方策の検討

主な討議事項と塩水導入に関する意見概要

治水計画、水門操作等について
水質、底質など自然環境について
河口水門周辺の有効活用について

川底でのメタンガス発生に対し、海水流入は有効では、
海水の貯留は良くないが、出し入れできれば良い。

海水流入も有効？

町内会ワークショップ（意見交換会）

- ・操明学区連合町内会（H16.1.13）
- ・政田学区連合町内会（H16.1.15）
- ・沖元東町内会（H16.1.18）
- ・操南学区連合町内会（H16.1.22）

かんがい用水への影響が懸念され、試行時期（かん
がい期は避ける）、導入範囲等十分配慮してほしい。
塩水導入は、沖元樋門までを限度としてほしい。また、
周辺の水田へ浸透しないかの観測も必要である。

自然環境の保全について
塩水導入について
地域の意向、有効活用について

塩水導入の際、深みに塩水が溜まらない考慮は必要
である。
塩水の適切なコントロールが重要であるが、水の流動
や滞留時間の短縮により、水質浄化効果はあると考え
られ、どの程度効果があるか確かめる価値はある。

< 事務所の方針 >

- ・地元関係者と調整を図りつつ、塩分導入による水質改善を実験的に行う。

有効利用
への
提案・意見

1 - 2 . 現状と今後の予定

<行政ワーキング> 平成17年9月9日

地域社会からの要望に対する
対応方針の検討
(国土交通省・岡山県・岡山市)

<学識者ワーキング> 平成17年10月4日

塩水導入実験計画の検討
・基本方針、目標
・実験方法など

現時点

第5回協議会(平成17年11月16日)

- ・ゾーン毎の将来像について
- ・塩水導入実験について(計画概要の説明)

第6回協議会(平成18年2月頃予定)

- ・アクション方針について
(実現化に向けた取り組み)
- ・塩水導入実験について
(実験結果の中間報告)

有効活用に向けた中間とりまとめ

地域社会との意見交換

現地実験の実施